



Vol. 45

# さと やすらぎの郷



若かりし日の白井様

# 新年の挨拶



園長 田中 智久

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年もやすらぎの郷の運営に関して、格別のご支援、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

皆様方のお力添えのもと、無事に新年を迎えることができましたことに深く感謝申し上げます。

やすらぎの郷は日本赤十字社の施設として、人道・博愛・奉仕の赤十字精神に基づき、地域に密着した温もりのある質の高い介護の実践に努めることを理念としております。

本年もこの思いを日々の業務で実践し、安全で安心な、心の通い合う施設となるよう、介護の知識・技術の習得や研鑽に努め、入所者・利用者、ご家族やボランティアの方々と心の繋がりを大切にして、職員一丸となって施設の運営に努めてまいります。

今後も、皆様と共にやすらぎの郷が多くの人々から信頼される施設であり続けるよう努力する所存でございますので、引き続きご支援、ご協力の程心からお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますようお祈りいたします。



## ☑ 感染症にご注意ください!

インフルエンザやノロウイルスが流行する季節になりました。インフルエンザの予防接種だけではなく、日々の生活から予防していきましょう。



### 《インフルエンザ》



#### 1. 感染経路を断つこと。

《飛沫感染や接触感染を防ぐ》

- ・帰宅時や食事前には、こまめな手洗いを心掛けましょう。
- ・アルコールを含んだ消毒液で手を消毒しましょう。  
※正しい手洗いをすることが大事です。

#### 2. 免疫力を高める。

- ・体が疲れているときなどは、感染しやすくなります。普段からバランスの良い食事と十分な睡眠を心掛けて免疫力を高めましょう。

#### 3. 予防接種を受ける。

- ・発症する可能性を軽減することが出来ます。もし発症しても重症化を防ぐことが期待されます。  
※アレルギーがある方などは、かかりつけ医にご相談され、ワクチンの接種を行ってください。

#### 4. 咳エチケット

- ・咳やくしゃみには病原体を含んでいる場合があります。鼻と口の両方を確実に覆うようにマスクを着用しましょう。



### 《ノロウイルス》



#### ● 感染経路には人からの感染と食品からの感染があります。

- ・感染者の便や吐瀉物から人の手を介して感染する（二次感染）
- ・飛沫などによる感染

#### ● 食品からの感染

- ・感染した人が調理などを行うことで、汚染された食品（料理）を口にする。
- ・ウイルスが蓄積した、二枚貝など加熱が不十分な状態で接種した場合。

#### ● 家庭での感染予防対策

##### 1. 手洗いをしっかりと行う。

- ・食事前やトイレの後は特に石鹸でよく洗い、流水で十分に流しましょう。  
※アルコール消毒はノロウイルスに効果がないといわれています。

##### 2. 人からの感染を防ぐ

- ・二次感染に注意し、便や吐瀉物の処理は正しい方法を行うようにしましょう。

##### 3. 食品からの感染を防ぎましょう。

- ・加熱が必要な食材は十分に火を通しましょう。85℃で1分以上の加熱が必要です。
- ・台所や調理器具の清潔を保ちましょう。まな板、包丁、布巾など使用後は直ぐに洗うようにしましょう。  
加熱消毒も有効的です。



Watashito

# わたしと 介護

Kaigo

やすらぎの郷は人の想いを支えます

百井様の奥様に  
お話しを伺いました



百井 照明 様



## 幼少の頃

終戦後、幼い主人は、朝鮮から家族と一緒に日本に引き上げてきました。

父親は、その後亡くなりましたので、主人の母は裁縫で生計を立て苦勞して兄弟4人を大学卒業させました。

## サラリーマン時代

高校卒業後、主人は鉄道会社に就職し電車の車掌をしながら大学2部(夜学)に通いました。会社でその努力が認められ、大学1部へ編入が認められ卒業できました。

大学卒業後は、観光業に就職しました。本社が大阪にあり独身寮での生活はとても楽しく、青春を謳歌したそうです。大阪に10年住んでいたため、以前は大阪弁も上手に喋れました。結婚した後は、九州など各地を転々する転勤族でした。

あの頃の男性の人は皆様そうだと思いますが、主人も仕事熱心で夜遅くまで働いていました。仕事の内容は旅行の企画・国際線の手続き等の事務仕事から、国内旅行の案内ではお茶出し等の雑用までやっていたそうです。昭和39年頃、一般の日本人は、簡単に外国旅行に行けない時代に、査察の為に香港・中国・台湾・ドイツ・イタリア・フィジー等に行く事もありました。当時、日本人が珍しいドイツでは、そのことが新聞に載ったそうです。

## 人柄や趣味について

とても優しく大人しく話し好きでした。努力家で責

任感が強いので、トラブルがあると解決のため奔走する事もありました。職場の皆さんには慕われていたと同時に良くしてくださいました。時間に厳しく、必ず腕時計をしていました。

絵を描くことが好きでしたし、テニスやゴルフをすることが好きでした。ゴルフに至っては、事故により体が不自由になっても、会社の方と一緒にしていました。野球観戦も好きで、ソフトバンクを応援していました。

## 事故にあわれてから社会復帰まで

35年前(昭和54)、主人が当時47歳のころ長崎で仕事をしていました。

ご存知とは思いますが長崎には急な坂や階段が多いのですが、仕事の帰りにその急な階段を9段転落し頭部を強く打つ事故をおこしました。頭部を打ったことで脳内出血を起し大学病院で手術を行いました。失語症・左半身麻痺等の害が残りました。早期回復のため7ヵ月間リハビリをするため入院しましたが、私も主人のベットの横と一緒に寝泊まりしました。入院中、朝起きると「どうしても会社に行く」と、きかないので、なんとかそれを制止したり、また、リハビリを嫌がる時があり、歩行訓練と一緒に付き添い歩けるように手伝うなどしました。皆様は、右手が使えるから良かったと思われると思いますが、残念ながら本人は左利きでした。それでも、元から、右手で字を書くことや、箸を使うことができていたので助かりました。リハビリ期間後、会社のご配慮もあり療養休暇を頂き、3年間、言語のリハビリ等を行う為、療養病院に入院しました。病院で月曜から金曜まで入院し、週末は自宅に帰宅し家族と一緒に過ごす生活をしていました。

入院時には、寂しくない様にと多くの職場の同僚の

方々からお見舞いに来てくださいました。退院後は、障害が残りながらも会社に復帰し、皆様の援助を受けながら簡単な作業をさせて頂きました。会社までは自分で電車に乗って歩いて通勤していました。47歳で事故にあってから60歳の定年になるまで、会社勤めができました。



## 定年後の生活

定年後、失語症患者の会(はげみの会)を知り、70歳頃まで参加させていただきました。

「はげみの会」の会員の皆様のサポートを受けながら、役員を務めさせていただき、会議の時は書記などさせて頂きました。アクロス福岡でコーラスを企画した際には、皆さんと一緒に歌を唄いました。退職後も充実した生活を送っていました。

## やすらぎの郷の利用

80歳以降は歩けなくなるなど、かなりの介護が必要になりましたので、デイケアを週3回利用していました。私の体調が悪くなり、入院した時や、用事があるとき等、やすらぎの郷のショートステイを利用させていただくようになりました。その後、私の体調をご心配した周りの人達の薦めもあり、やすらぎの郷にお世話になることにしました。

## やすらぎの郷に入所してから

主人をお預かりして頂いてありがとうございます。

ショートステイ利用時から信頼しておりますので、特に何もありません。私が腰や膝を痛めておりまして、自宅で主人の介護を行うには無理があります。ですから、やすらぎの郷に入れて安心しております。今後も宜しくお願いいたします。

### インタビューを終えて

百井様の奥様からご主人の昔の話をたくさんお話ししていただきました。

百井さんの真面目で優しく、人の面倒見が良い人柄に触れ、又、周りの皆様から愛されていることを知ることができました。これから、百井様にとってやすらぎの生活が充実して過ごせます様、努めていきたいと思えます。百井様の奥様、貴重なお話をし下さりありがとうございます。

(インタビュー：東棟 別所 正紹)

# ケアハウス忘年会

ケアハウス入居者20名の親睦を深めるため、そして、来年1年も元気に過ごしていただけるようにと毎年、忘年会を開催しています。

ケアハウスの皆さんも忘年会を「今年も楽しみね」と待ち焦がれていました。

今年は12月7日に研修室にて開催し、職員による出し物を見て大笑いされたり、入所者の方もカラオケに参加されたりして盛り上がりました。園長とデュエットで歌われた時は、はにかんで恥ずかしそうに歌っている姿が印象的でした。

食事は、入所者の方々が下準備をされ、「主婦の血が騒ぐ」と皆さんワイワイおしゃべりしながら、手際よくあっという間に終わりました。

メニューは「おでん」「天ぷら」「ちらし寿司」を準備し、「美味しい」と満足そうに召し上がられていました。

忘年会の最後には抽選会をして、みなさん様々な景品を手に入れ、大変喜んでおられました。





# デイサービス



Day Service

## 季節の年間行事

1年を通じて様々なイベントがあります



花見

春



そうめん流し

夏



大運動会



フラダンス  
体操



新春  
カルタ  
大会

中庭の  
コスモス

秋



冬



おやつ  
作り



節分  
豆まき





# 第6回 やすらぎの郷 秋祭り



10月27日(土) 第6回やすらぎの郷秋祭りを開催しました。当日は晴天にも恵まれコスモスも満開の状態、ご家族や近隣の方々をお迎えすることができました。

ホールでは今回の目玉とも言える、エイサーの踊りの迫力や太鼓の勇ましさを間近で感じることができ、盛大に盛り上がる演目となりました。ケアハウスの入居者全員での合唱も一人ひとりが力を合わせて、素晴らしい歌と楽器の演奏となり感動することができました。

祭りの最後は皆さんが楽しみにされている、大抽選会。当選した方もそうでない方も大盛り上がりで第6回のやすらぎの郷秋祭りを終えることができました。

秋祭りの準備をして下さいました家族会の皆様や各演目に出演の皆様には深く感謝いたします。また、当日はたくさんのご来場ありがとうございました。



## プラス RUN伴+



平成30年11月13日(金)に粕屋地区で開催された、RUN伴+(プラス)に参加しました。当日は気温が下がり、肌寒いなかでの開催となりましたが、志免町エリアを西と東に分けて、約10kmの道のりを歩き、各中継スポットに立ち寄って、ミニイベントなどを行いました。「認知症になっても安心して暮らしていける町づくり」を目指し、「認知症であっても、なくても安心して暮らせる町づくりを応援します」を合言葉に誰もが住みやすいまちになれるように、今後も活動していきたいと思います。



日本赤十字社福岡県支部  
特別養護老人ホーム

やすらぎの郷

〒811-2208 福岡県粕屋郡志免町大字吉原600番 TEL.092-936-2022 FAX.092-936-2135  
ホームページ <http://yasuraginosato.org/cgi-bin/index.cgi>

平成31年1月発行